



## 子育て支援コーディネーター通信



新年あけましておめでとうございます。

あと4か月ほどで平成も終わります。時代は変わっても、子どもたちが健やかに成長していける平穏な世の中であるようにと願います。

今年の冬は例年より暖かいですね。大雪は困りますが、冬は冬らしく季節を感じたいと思います。

さて、年明けのじいろひろばと保育園併設各支援センターのお休みは、1月3日までで4日から開いています。

各子育てひろばは、1月7日の週から通常の開館曜日で、始まります。冬休み中の小学生と一緒に利用日があったり、1月中に振替開館のある 子育てひろばもありますので、ご確認ください。

今年もよろしくお願いいたします。



### お薬、どうやって飲ませていますか？

寒い季節になると、おなかの風邪やインフルエンザなどの感染症にかかる方が増えます。お子さんの場合、薬を飲むのがひと苦労という場合もありますね。薬に関しては、医師や薬剤師に聞いていただくのが一番ですが、皆さんはどうやって薬を飲ませていますか？

～子どもに薬を飲ませるポイント～

≪「子どもの急な病気・けが 困ったときのガイドブック」からの引用あり(・・お家にありますか？黄色い冊子です)≫

○子ども用の薬は、もともと苦くなく工夫されています。それを薄めても量が増えるだけで、飲むことに変わりありません。水で薄めるならほんの少量で薄め、飲む全体量を増やさないほうが苦痛は少ないでしょう。

○粉薬の場合、少量の水や湯冷まして練って指につけ子どもの頬や上あごにぬり、その後すぐに水やミルクを飲ませる方法があります。

○上手に飲めない場合、ゼリー状のオブラートに包んだり、食べ物(アイスクリームやココアパウダーなど)に混ぜたりする方法もあります。

○ジュースに混ぜると種類によっては、苦みが強調されてしまいます。ミルク、おかゆ、ご飯などに混ぜると、薬への拒否感からご飯などを受け付けなくなるお子さんもいますので、注意が必要です。

○「薬を飲ませなきゃ」と大人が必死になるあまり、怖い顔にならないようにするのも大事です。

○祖父母の方にお子さんを預けるときは、お話が分かる年齢であれば「元気になるようにいいお口でお薬飲んで、じいじ、ばあばにいっぱいほめてもらおうね」など前もって話しておいてもらえると、預かる側の気持ちも楽になります。